

DRV-CW560

360° 撮影対応ドライブレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



本機の設定や映像の確認には、スマートフォンアプリのインストールが必要です。16ページの「スマートフォンアプリを使う」をお読みください。

もしものときは！！

必要な録画/記録ファイルが上書きされないように**本機の電源をオフ**にしてmicroSDHCカードを取り出してください。
(→ P.24)

microSDHC カードを本機に挿入する前に 14 ページの「microSD カードについて」をお読みください。


My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトにて会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

本書の見かた	3	再生する	29
ドライブレコーダー機能ガイド	4	アルバム画面	29
録画機能について	4	ファイルを再生する	30
運転支援機能について	5	再生画面の操作	30
安全上のご注意 (必ずお読みください)	6	複数のファイルを処理する	31
内蔵電池について (本機は充電式電池を内蔵しています)	7	運転支援機能を使う	32
取り付けや配線について	8	運転支援機能についてのご注意	32
使用方法について	10	運転支援機能をオン / オフする	33
異常時の問い合わせ	11	設定を変更する	34
使用上のご注意	12	各機能を設定する	34
取り付けについて	12	メニューの一覧	35
ご使用について	12	フォルダ / ファイル構成	37
電源について	12	パソコンツールを使う	38
内蔵バッテリーについて	12	KENWOOD STREET TRACKER の動作環境	38
衛星受信について	12	インストールする	38
本機のお手入れ	12	録画ファイルの再生	39
無線 LAN について	13	故障かな?と思ったら	42
microSD カードについて	14	共通	42
本機で使用する microSD カード	14	駐車録画	43
当社推奨 microSD カード	14	イベント記録	43
microSD カード使用上のご注意	14	運転支援	44
ファイルについてのご注意	14	KENWOOD STREET TRACKER	44
各部の名称とはたらき	15	音声メッセージ	45
スマートフォンアプリを使う	16	付録	46
Android スマートフォンの場合	16	ソフトウェア使用許諾契約書	46
iPhone の場合	16	ソフトウェアに関する重要なお知らせ	47
無線 LAN を接続する	17	オープンソースライセンス	48
ライブビューを表示する	18	商標について	59
取り付け / 配線のしかた	19	主な仕様	60
取り付け時のご注意	19	保証とアフターサービス	62
取り付ける	19	交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度	63
接続する	20		
推奨取り付け位置	22		
車載電源ケーブル JVC CU-BC100 (別売品) で接続する (駐車録画機能を使う場合の接続方法)	23		
ご使用の前に	24		
microSD カードを入れる / 取り出す	24		
電源をオン / オフする	24		
microSD カードをフォーマットする	25		
録画する	26		
常時録画	26		
イベント記録	26		
駐車録画	27		
駐車録画機能を設定する	28		

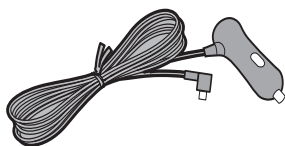
本書の見かた

表記	説明
(→ P.34)	本書の参照するページを表しています。
「音声記録設定」	表示されるメニュー名を表しています。
[無線 LAN]	本機のボタン名を表しています。
	手順の補足説明や制限事項について説明しています。
つづく	説明が次のページに続いていることを表しています。 右ページのみに表示します。

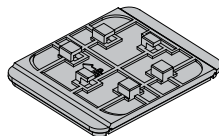
- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。
実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- 最新の取扱説明書やファームウェアのアップデート情報などについては、
当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/> をご覧ください。

付属品

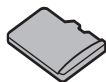
シガープラグコード (3.5m) x 1



取付プレート (両面テープ) x 1



microSDHC カード (32GB) x 1



保証書 x 1



-
- microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
-

ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属の microSDHC カード（以降 microSD カード）に映像を記録保存します。必ず microSD カードを挿入してからお使いください。

microSD カードの入れかたについては 24 ページをご覧ください。

録画機能について

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にしている間は、本機の電源がオンになり、常に録画を続けます（常時録画）。常時録画中に、車両に大きな衝撃が加わった場合は、その前後の映像を記録します（イベント記録）。

また、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル JVC CU-BC100（別売品）を使用しているときは、駐車中、車両に大きな衝撃または動体を検知すると、検知前後の映像を録画します（駐車録画）。

常時録画（→ P.26）

本機の電源オンから電源オフまで常に録画しています。

Go



常時録画



到着

イベント記録（→ P.26）

本機が衝撃を検知するとイベント記録ファイルを「Event」フォルダに保存します。

Go



常時録画



到着

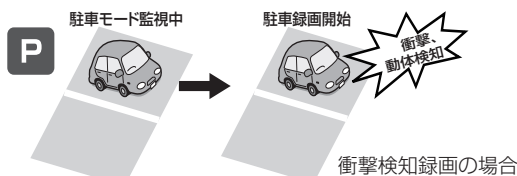
イベント記録



駐車録画（→ P.27）

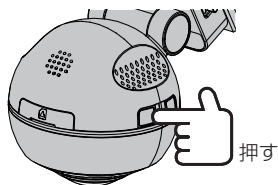
ドライブレコーダー用車載電源ケーブル JVC CU-BC100（別売品）が必要です。また、駐車録画を使う場合は駐車録画の設定を行ってください。（→ P.28）

- ・エンジンをオフしてから約3分後に駐車録画の監視が始まります。
- ・設定によって、衝撃および動体検知による録画とタイムラプス録画を選択できます。



■ イベント記録の手動録画

常時録画中に本機の[⊖/REC]ボタンを押すと、イベント記録の手動録画を開始します。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。(→ P.26)



運転支援機能について




本機にはリフレッシュ通知、速度警告、ヘッドライト点け忘れ警告の運転支援機能があります。各機能については事前に設定が必要です。(→ P.32)

安全上のご注意（必ずお読みください）




■ 本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

● 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 著作権について

- ・録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

内蔵電池について（本機は充電式電池を内蔵しています）

危険



本機（内蔵電池）の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

警告



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

けがや事故の原因となります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

取り付けや配線について



本機は DC12V ⊖アース車以外で使用しない
火災や故障の原因になります。DC12V ⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない
交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取り付け許容範囲外に貼り付けない
視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ネジなど小物部品や microSD カードは乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

本機に付属のシガープラグコードを使用する

付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。

シガープラグは、確実に差し込む

確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く

コードが破損し火災、感電の原因となります。

使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く

車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。

シガープラグは定期的に清掃する

ほこりが付着していると火災の原因となります。



ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

使用方法について

⚠ 警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止して電源コードを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼してください。

⚠ 注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意



落としたり使用を中止する

本機を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

取り付けについて

- 誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度など「取り付け / 配線のしかた」を参照して本機を正しく取り付けてください。(→ P.19)

ご使用について

- もしものときに備えて、本機の録画機能が正しく働いているか定期的に確認してください。本機で録画したmicroSDカードの映像をスマートフォンアプリまたはビューアソフト[KENWOOD STREET TRACKER]で再生し、最新のファイルが録画されているかなどの確認を行ってください。(→ P.30/P.38)
- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- 車両のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 本機が応答しなくなった場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直すには本機のSDカードスロット付近にあるRESET ボタンを先端が細い爪楊枝等で押します。電源が切れて、再度オンになります。(→ P.15)
- LED 信号機の色が認識できなかったり、ちらついたりする映像が記録される場合がありますが、本機の故障による症状ではありません。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。

電源について

- 本機の動作電源電圧はDC5Vです。必ず付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル JVC CU-BC100 (別売品) を取扱説明書にしたがって接続してください。ケーブルの改造 (バッテリーに直接つなぐ) などは絶対に行わないでください。
- 車両の電源をオフにしてもアクセサリソ

ケット(シガーソケット)が通電状態になっている車種の場合は、車両を離れるときにシガープラグを抜いてください。

- 付属のシガープラグは本機(DRV-CW560)専用です。その他の機器を接続しないでください。
- 車種によって、エンジンキーをオフにしても、本機の電源がすぐにオフにならないことがあります。故障ではありません。

衛星受信について

- GPS は、GPS の性能について全責任を負う、米国政府によって運営されています。
- 衛星信号は、固体物質(ガラスを除く)を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、衛星信号の受信ができません。衛星信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物(例えば、樹木、高架橋または高層ビル)などの影響を受ける可能性があります。

本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。
- ご使用前に取付プレートの接着面がはがれていないか、確認してからご使用ください。

無線 LAN について

- ・本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（証明を受けた部品を使用しています）。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解 / 改造すること
 - 本機に表示されている認証表示（適合マーク及び認証番号）を消すこと
- ・本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、弊社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- ・製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4DS/OF4

2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

DS/OF：変調方式が DS-SS、OFDM であることを示します。

4：電波干渉距離は 40 m です。

■■■■：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

microSD カードについて

本機で使用する microSD カード

- 本機で使用できるのは下記の microSD カードです。

タイプ	microSDHC
容量	16GB～32GB
スピードクラス	Class 10 以上推奨
ファイルシステム	FAT32

- 本機には microSDHC カード (32GB) が同梱されています。

当社推奨 microSD カード

- ケンウッド製 microSDHC メモリーカード(別売品)
詳細は
https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option
をご覧ください。

microSD カード使用上のご注意

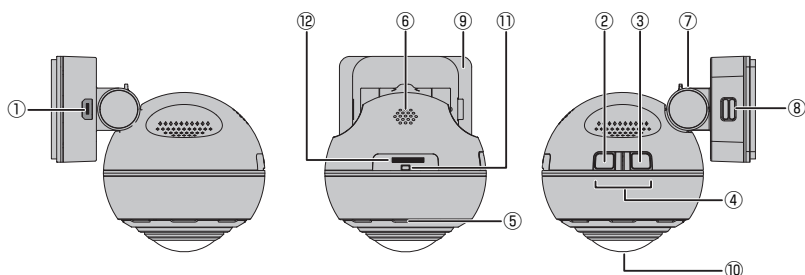
- 16GB 未満の microSD カードを使用する場合、記録が残らない場合があります。
- microSD カードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、製品寿命があります。定期的に新しい microSD カードと交換することをお勧めします。
- microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
- カメラなど、他の機器で microSD カードのフォーマットを行うと、本機で正常に動作しません。必ず microSD カードのフォーマット (初期化) は本機で行ってください。フォーマットできない microSD カードは使用できません。
- 本機の手続き読み取りおよび書き込み速度は、microSD カードの仕様によって異なる場合があります。
- 分解や改造を行わないでください。

- microSD カードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、清潔で乾燥した場所に保管し、高温多湿の場所には放置しないでください。
- microSD カードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。
- データが壊れる可能性がありますので記録中や再生中に microSD カードを取り出さないでください。
- microSD カードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- 必要なファイルは必ずパソコンなどに保存 (コピー) してください。
- microSD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- microSD カードを着脱するときは、方向を確認し折り曲げたり、強い圧力や衝撃を与えたりしないでください。
- 市販の microSD カードを使用するときは、microSD カードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。

ファイルについてのご注意

- microSD カード内の必要なファイルは必ずパソコンなどに早めに保存 (コピー) してください。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSD カードのフォーマットを行うと、保護したファイルを含むすべてのファイルが消去されます。
- 本機の microSD カードフォーマットや削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、microSD カード内のデータは完全に消去されません。
- 廃棄 / 譲渡の際は、microSD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って microSD カード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- microSD カード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

各部の名称とはたらき



番号	名称	はたらき
①	電源入力端子 (DC5V)	付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル JVC CU-BC100 (別売品) を接続します。(→ P.23)
②	[⏻/REC] 電源 / 録画ボタン	3 秒以上押し続けると電源をオンまたはオフします。通常録画中に短く押すと、イベント記録を開始します。
③	無線 LAN ボタン	短く押すと、無線 LAN をオンまたはオフします。10 秒以上押し続けると無線 LAN 設定をリセットします。
④	インジケーター	本機の状態をお知らせします。 点灯 (緑) : 録画中 (橙非点灯時) * 点灯 (橙) : 録画停止中*、駐車録画待機中、録画ファイル再生中 点灯 (白) : 無線 LAN オン * イベント記録中は緑と橙が同時点灯します。
⑤	マイク	録画中の音声を収録します。
⑥	スピーカー	音声ガイドや警告音を出力します。音量の設定については、「システム設定」の「スピーカー音量」をご覧ください。(→ P.36)
⑦	角度調整部	取り付け時に画角を調整します。(→ P.21)
⑧	リリースレバー	本機を車両から取り外すときにレバーを手前に引きながら、右にスライドさせます。
⑨	取付プレート (同梱)	本機を車両に取り付ける際に、先にガラスに貼り付けます。
⑩	カメラレンズ	映像を魚眼レンズで撮影します。
⑪	RESET ボタン	本機をリセット (再起動) します。(→ P.12) RESET ボタンを押しても、設定や録画・記録したファイルは消去されません。
⑫	microSD カードスロット	録画用の microSD カードを挿入します。(→ P.24) microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

スマートフォンアプリを使う

本機の設定や映像の確認には、スマートフォンアプリ「Street Tracker Mobile」が必要です。本機の取り付けの前に、必ずスマートフォンアプリのインストールを行ってください。無線 LAN の接続設定やライブビューは本機の取り付けと配線が完了してから行ってください。

- ・本書に掲載の機能や操作方法は、今後のアップデートにより変更となる場合があります。

Android スマートフォンの場合

■動作環境：Android6.0.1 以上

(すべての機種の実動作を保証するものではありません。)

1. アプリケーションの一覧画面で "Play ストア" をタップする
2. "Street Tracker Mobile" アプリケーションを検索する
3. "Street Tracker Mobile" アプリケーションをタップする
 - ・アプリケーションの詳細情報が表示されます。
4. "インストール" をタップする
 - ・本機のデータや機能にアクセスするアプリケーションの場合は、どのデータや機能を利用するかを示す画面が表示されます。
5. 許可内容を確認してから、"同意してダウンロード" をタップする。
 - ・ダウンロードが始まります。

iPhoneの場合

■動作環境：iOS12.4 以上

(すべての機種の実動作を保証するものではありません。)

1. ホーム画面で "App Store" をタップする
2. "Street Tracker Mobile" アプリケーションを検索する
3. "Street Tracker Mobile" アプリケーションをタップする
 - ・アプリケーションの詳細情報が表示されます。
4. "入手" をタップする
 - ・パスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを入力してください。
 - ・ダウンロードが始まります。
 - ・ダウンロードしたアプリケーションは、自動的にホーム画面に追加されます。

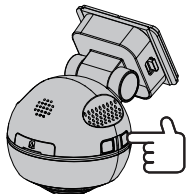
アプリを削除するときは

- 1 ホーム画面で「Street Tracker Mobile」アプリケーションを長押しする
- 2 X をタップして、削除する

無線 LAN を接続する

- ・本機を初めてお使いの場合や、使用するスマートフォンを替えた場合、SSID やパスワードを変更した場合は、無線 LAN の接続設定をしてください。

1. エンジンスイッチを「オン」にする
2. カメラの [無線 LAN] ボタンを押す
白色の LED が点灯します。



3. スマートフォンの Wi-Fi 設定で本機の SSID を選択し、接続する

- ・工場出荷時は以下に設定されています。
SSID : DRV_CW560_xxxx
(xxxx は英数字)
パスワード : 12345678

- ・ SSID またはパスワードをお忘れのときはカメラの [無線 LAN] ボタンを10秒以上押し続けると、無線 LAN の接続設定が工場出荷時の設定になります。

パスワードの変更



本機をご使用になる前に、かならずパスワードを変更してからお使い下さい。設定メニューの「SSID/パスワードの変更」で変更できます。(→ P.36)



- ・工場出荷時のパスワードを変更せずに使用した場合、記録したデータの漏洩を招く可能性があります。これによる損失が発生しても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

4. 「Street Tracker Mobile」を起動する



[無線 LAN 設定]	(Android のみ) スマートフォンの Wi-Fi 設定を開きます。
[ライブビュー]	ライブビューを表示します。
	アルバムを表示します。
	(無線 LAN 接続時) 設定メニューを表示します。 (無線 LAN 非接続時) このアプリの情報を表示します。

スマートフォンアプリを使う

ライブビューを表示する

1. カメラの [無線 LAN] ボタンを押して、スマートフォンを接続する

白色の LED が点灯します。

※最初に接続するときには「無線 LAN を接続する」(→ P.17)の手順で接続してください。

2. 「Street Tracker Mobile」を起動する

3. [ライブビュー] をタップする

ライブビュー画面が表示されます。



①記録時間

- 記録中のファイルの記録時間を表示します。1つのファイルの録画時間は1分です。
- 設定メニューやアルバムを表示すると、録画が停止するためリセットされます。

②画面の明るさ(ディマー)

- 画面を一時的に暗くします。画面にタッチすると元の明るさに戻ります。

③音声記録オン/オフ

④地図表示









- インターネットに接続していないときは表示しません。

⑤地図表示オン/オフ

⑥軌跡表示オン/オフ

⑦速度表示

⑧操作ボタン

ボタン	説明
	ラウンド：360°の映像を円形状に表示します。
	パノラマ：横長の360°の映像を表示します。
	2分割：前方と車内の映像を表示します。
	4分割：前後左右の映像を4分割で表示します。
	切り出し：上下左右にスクロールができる切り出し映像を表示します。
	アルバムを表示します。
	イベント記録を開始します。
	設定メニューを表示します。

- 映像をスクロールするときは、表示されている映像をフリックしてください。

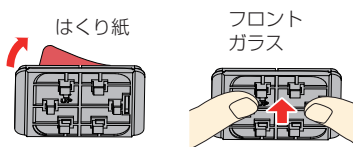
取り付け / 配線のしかた

取り付け時のご注意

- ・運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・他の車載機器（安全支援システム用カメラや防眩ルームミラーなど）に影響を与えない位置に取り付けてください。詳しくは車両の取扱説明書を参照してください。
- ・運転やエアバッグ動作の妨げにならないように取り付けてください。
- ・車両のフロントガラスが反射コーティングで着色されている場合、電波を伝えることができず、衛星受信に影響を与える可能性があります。
- ・取り付け後、車両電装品が正常に働くか、必ず動作確認を行ってください。
- ・取り付け後、カメラレンズの保護シートをはがしてください。
- ・ケーブル類は運転操作の妨げにならないようにソフトテープなどでまとめてください。
- ・ケーブルの配線をラジオアンテナの付近で行うと、ラジオの受信感度が下がることがあります。
- ・本機や本機の電源配線を地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに取り付けおよび配線をしないでください。テレビの受信感度の低下やちらつき、ノイズの原因になる可能性があります。
- ・フロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲内に取り付けてください。
- ・ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・車検証ラベルなどに重ならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなることがあります。

取り付ける

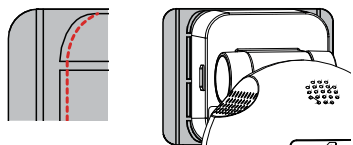
1. 水平で安全な場所に車両を駐車する
2. 推奨取り付け位置（→ P.22）を参考に、取り付け位置を決める
3. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る
4. 取付プレートの両面テープのはくり紙をはがし、フロントガラスに押しつけて取付プレートを貼り付ける
「UP ↑」の矢印が上向きになるようにして、気泡が入らないように貼り付けてください。車両の左右方向の傾きは本機では角度調整ができません。貼り付け時に傾かないようにご注意ください。



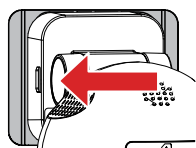
- ・粘着テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後24時間以上放置してから使用してください。
- ・貼り付け後に一度はがした両面テープは再利用できません。

取り付け / 配線のしかた

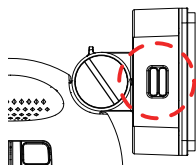
5. 取付プレートの左側のラインに取り付け部を合わせて差し込む



6. 押しつけながら「カチッ」と音がするまで左にスライドさせる

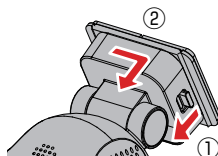


リリースレバーの赤色が見えていないことを確認してください。



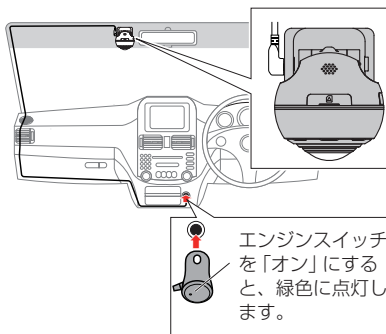
取り外しのときは

リリースレバーを手前に引きながら右にスライドし、手前に引いてください。



接続する

1. 付属のシガープラグコードをアクセサリソケットに接続してカメラに電源コードを接続し、配線する



シガープラグには12Vから5Vに変換する回路が内蔵されています。シガープラグの改造、加工は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

2. エンジンスイッチを「オン」にする
3. カメラの【無線 LAN】ボタンを押して、スマートフォンを接続する

無線 LAN がオンのときは白色の LED が点灯します。

※最初に接続するときは「無線 LAN を接続する」(→ P.17)の手順で接続してください。

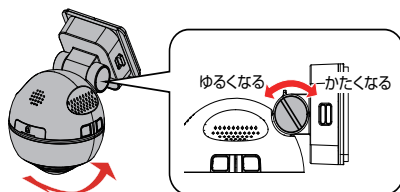
4. 「Street Tracker Mobile」を起動する

5. 「ライブビュー」をタップする ライブビューを表示します。



6. 角度を調整する

フロントウインドウとリアウインドウが両方映るように角度を調整します。

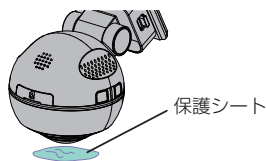


固定のかたさは右側の調整ネジで調整ができません。

コインを使用して、角度調整がやりにくいときは反時計方向に、走行中に動いてしまうときは時計方向に回してください。

カメラが破損するおそれがありますので、ドライバーは使用しないでください。

7. カメラレンズの保護シートをはがす

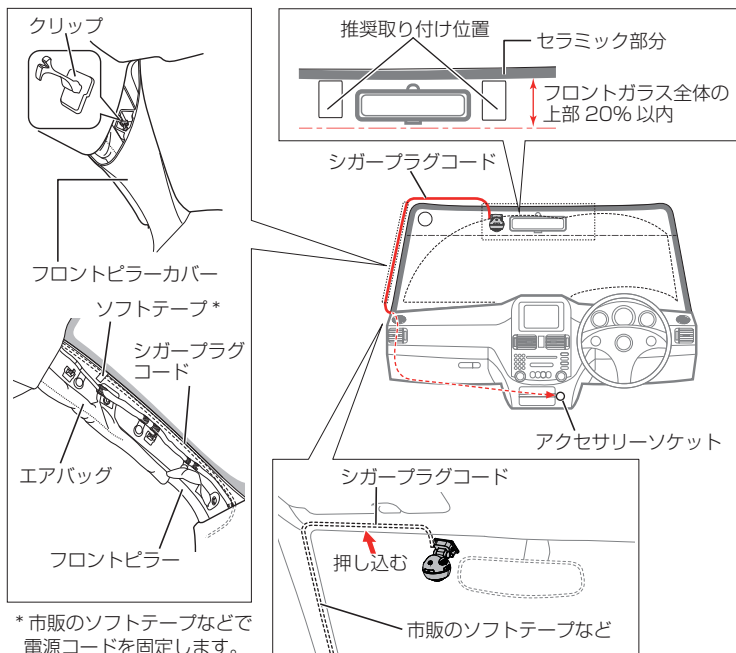


8. エンジンスイッチを「オフ」にする

取り付け / 配線のしかた

推奨取り付け位置

シガープラグコードの配線の引き回しを行ってください。



* 市販のソフトテープなどで電源コードを固定します。

- 国土交通省の定める保安基準* に適合するように取り付けてください。
* 保安基準：道路運送車両の保安基準第 29 条（窓ガラス）
- ケーブル・コード類は運転やエアバッグ動作の妨げにならないように注意して取り付けてください。
- フロントピラーカバーが特殊クリップなどで固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- ケーブル・コード類は運転操作の妨げにならないように市販のソフトテープなどでまとめてください。
- 地デジや ETC 等のケーブル・コードといっしょに束ねないようにしてください。
- ケーブル・コードの配線をラジオアンテナの付近で行うと、ラジオの受信感度が下がることがあります。

車載電源ケーブル JVC CU-BC100 (別売品) で接続する (駐車録画機能を使う場合の接続方法)

JVC CU-BC100 (別売品) で接続して、「駐車録画機能」を設定すると、エンジンキーをオフ後に駐車録画機能が有効になります。(→ P.28)



- 接続をする前に車載電源ケーブル JVC CU-BC100 (別売品) に付属の取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」、「使用上のご注意」をよくお読みいただき安全に取り付けてください。

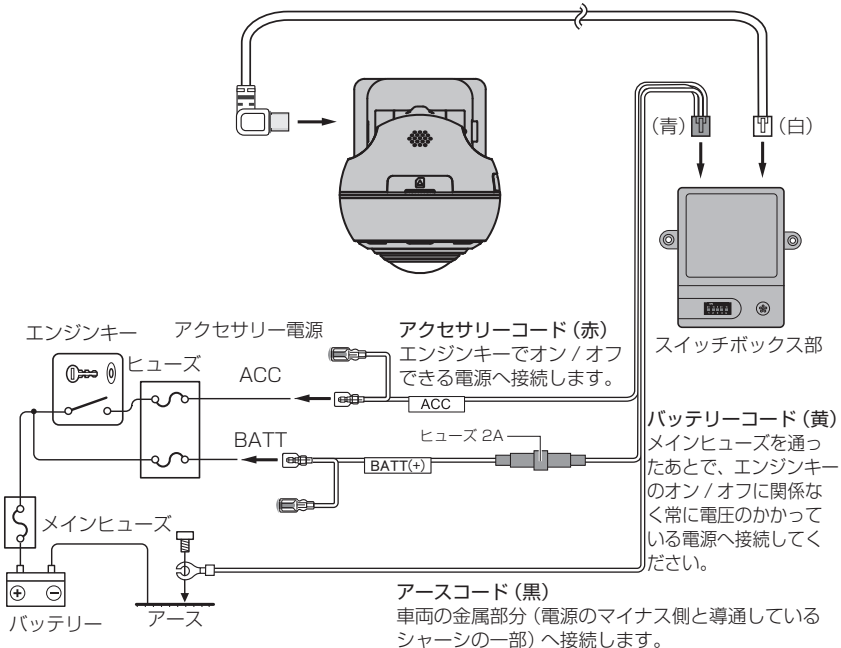
1. 「電圧カットオフ値設定」と「オフタイマー設定」を行う

JVC CU-BC100 (別売品) に付属の取扱説明書を参照して、「スイッチ設定」を行ってください。

2. 配線する

■ 配線のしかた (JVC CU-BC100)

カメラに車載電源ケーブルを接続します。



- * アクセサリー/バッテリーコードが接続できます。
接続しない場合はキャップを外さないでください。

ご使用の前に

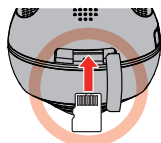
ご使用の前に、両面テープのはがれがないか、定期的に点検を行ってください。
運転の妨げや事故の原因となることがあります。

microSD カードを入れる / 取り出す

microSD カードを出し入れするときは、データの破損・消失防止のため、電源をオフにして行ってください。

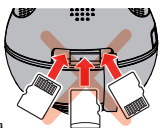
● microSD カードを入れる

microSD カードを microSD カードスロットにカチッと音がするまで挿入します。カードの向きに注意してください。



microSDHC ロゴのある面をレンズ側にして、端子面から挿入する

● 間違った入れかた



斜めに挿入しない

端子面を下にしない

向きを間違えない



・microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

● microSD カードを取り出す

microSD カードを押して、microSD カードが少し飛び出したら引き抜きます。

電源をオン / オフする

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にすると、本機の電源がオンになり常時録画が始まります。エンジンスイッチを「オフ」にすると、駐車録画を使用しない場合は電源がオフになります。

● 本機の電源を手動でオフにする

本機の電源がオンのときに電源ボタンを3秒以上押し続けると、電源がオフになります。

● 本機の電源を手動でオンにする

本機の電源がオフのときに電源ボタンを3秒以上押し続けると、電源がオンになります。

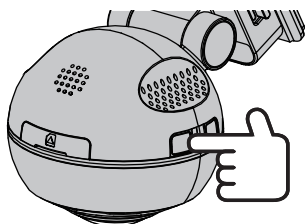


・エンジンスイッチがオフのときには手動で電源をオンにできません。

microSD カードをフォーマットする

フォーマットが必要な microSD カードの場合は、microSD カードを挿入して電源をオンにしたときに音声でフォーマットを案内します。

- 案内音声の後で、電源ボタンを一回押してください。



フォーマット終了後に常時録画を開始します。



※動作不具合のときや記録内容を消去するためにフォーマットをするときは、スマートフォンアプリを使用してください。(→ P.36)

録画する

本機には、電源オン時に「常時録画」、「イベント記録」、「イベント記録の手動録画」の録画機能があります。

車両のエンジン「オフ」時に「駐車録画」の機能があります。

音声を記録するかしないかをスマートフォンアプリの「設定」で選ぶことができます。(→ P.34)

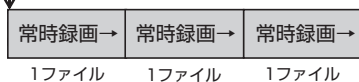
本機の録画状態をスマートフォンアプリのライブビューで確認できます。

常時録画

本機の電源がオンになると、常時録画を開始します。常時録画は1ファイルごとの録画時間に分割して録画し、「Video」フォルダの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きして常時録画を続けます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

1ファイルごとの録画時間は1分です。

電源オン



録画ファイルの保存場所

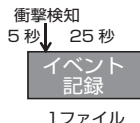
常時録画のファイルは、microSDカード内の「Video」フォルダに保存されます。(→ P.37)

常時録画の最大録画時間	microSDカード容量ごとの録画時間の目安については、28ページをご覧ください。
-------------	---

イベント記録

常時録画中に突発的な衝撃や予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。

- イベント記録は手動で記録することもできます。
- イベント記録ファイルは衝撃検知の5秒手前から30秒間です。



録画ファイルの保存場所

イベント記録のファイルは、microSDカード内の「Event」フォルダに保存されます。(→ P.37)



- イベント記録が記録されたときは、上書きしないように本機の電源を「オフ」にしてmicroSDカードをすぐに抜いてください。
- 「Event」フォルダの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きします。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

■ イベント記録を手動で開始する(手動録画)

常時録画中に [⏻/REC] ボタンを押すと、イベント記録を手動で開始します。



- 「ファイル再生中」、「設定中」、「駐車録画中」はイベント記録の手動録画はできません。

駐車録画

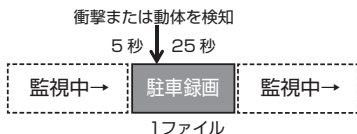
駐車録画機能を使用するには、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル JVC CU-BC100 (別売品) の電源接続とオフタイマー設定を 2 時間～10 時間にする必要があります。詳細は JVC CU-BC100 の取扱説明書を参照して下さい。

さらに、本機の「駐車録画機能」を設定する必要があります。(→ P.28)

設定によって、衝撃&動体検知による録画とタイムラプス録画を選ぶことができます。

■ 衝撃&動体検知録画

エンジンをオフにすると、3分後に駐車録画の監視が始まります。駐車監視では車両の衝撃およびレンズ範囲内の動体を監視します。監視中に車両への衝撃または動体を検知すると、駐車録画を開始します。駐車録画ファイルの録画時間は30秒間です。



■ タイムラプス録画

エンジンをオフにすると、3分後にタイムラプス録画が始まります。通常の動画は1秒間に27枚(フレーム)の画を撮影しますが、タイムラプス撮影では1秒間に1～5フレーム(設定による)の撮影をします。

長い時間の撮影ファイルを短い時間で見ることができます。

録画ファイルの保存場所

駐車録画のファイルは、microSDカード内の「Parking」フォルダに保存されます。(→ P.37)

※「Parking」フォルダの記録領域がなくなると、古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。



- 衝撃検知録画中に衝撃または動体を検知しても録画時間は延長されません。
- ドアを閉めたときの振動を検知して衝撃検知録画が開始することがあります。
- 駐車監視中は電力消費を抑えるため、衛星受信を止めています。
- 車両のエンジンスイッチをオフにする前に、本機の電源ボタンで電源をオフにしたときは、駐車録画は動作しません。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合、駐車録画は動作しないことがあります。
- 駐車監視中は無線LAN機能を使用できません。

録画する

駐車録画機能を設定する

1. カメラの [無線 LAN] ボタンを押す
白色の LED が点灯します。
※最初に接続するときは「無線 LAN を接続する」(→ P.16) の手順で接続してください。
2. 「Street Tracker Mobile」を起動する
3. [⚙️] をタップする
設定メニューが表示されます。
 - ・無線 LAN が接続されていないときは、設定メニューは表示されません。



4. 「駐車監視モード」の設定を選択する

設定	説明
オフ	駐車録画をしません。
衝撃&動体検知	衝撃または動体を検知して録画を行ないます。
タイムラプス 1 fps	1 秒間に1フレームのタイムラプス録画を行ないます。
タイムラプス 3 fps	1 秒間に3フレームのタイムラプス録画を行ないます。
タイムラプス 5 fps	1 秒間に5フレームのタイムラプス録画を行ないます。



- ・前の画面に戻るには、[<] をタップします。

録画時間の目安

タイムラプス録画の場合は、実際の記録時間ではなく、再生時間です。

microSD カード 容量	16GB	32GB (付属)
合計	108分	218分
常時録画	86分	174分
イベント記録	10分	21分
駐車録画	10分	21分

再生する

本機の録画映像をスマートフォンアプリで再生できます。

1. カメラの [無線 LAN] ボタンを押す
白色の LED が点灯します。
※最初に接続するときには「無線 LAN を接続する」(→ P.17) の手順で接続してください。
2. 「Street Tracker Mobile」を起動する
3. [📁] をタップする



録画ファイルを選択して再生します。
アルバム表示中や再生中は、通常録画を停止します。

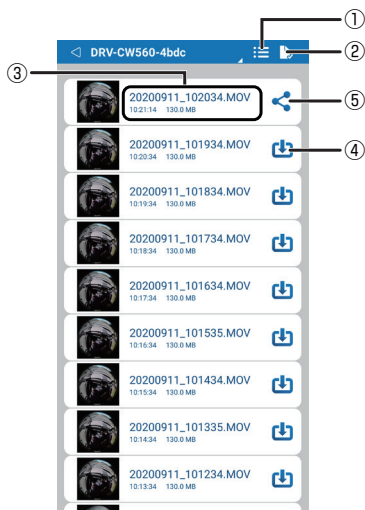
■ ストリーミング再生



選択したファイルをすぐに再生します。
再生する画像のサイズは 640x640 です。

■ ダウンロード再生

選択したファイルをスマートフォンに転送してから再生します。

アルバム画面



番号	表示	説明
①	表示切り替え	アルバムの表示を切り替えます。
②	ファイル選択	複数のファイルを選択する画面を開きます。
③	ファイル情報	ファイル名と記録時刻、ファイル容量を表示します。
④	 ダウンロード	カメラの SD カードに保存されているファイルです。このマークをタップするとダウンロードを開始します。
⑤	 共有	スマートフォンに保存されているファイルです。このマークをタップすると他のアプリでファイルを使うことができます。

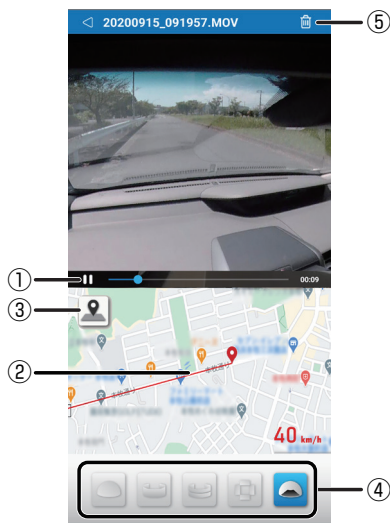
再生する

ファイルを再生する

録画ファイルを選択して再生します。

1. アルバム画面で再生したいファイルをタップする

再生画面を表示します。



再生画面では以下の操作ができます。

①再生 / 一時停止






タップすると表示中のファイルを再生 / 一時停止します。

②地図表示

・ファイルをダウンロードしていない場合や、インターネットに接続していないときは表示しません。

③地図表示オン / オフ

④操作ボタン

ボタン	説明
	ラウンド：360°の映像を円形状に表示します。
	パノラマ：横長の360°の映像を表示します。
	2分割：前方と車内の映像を表示します。
	4分割：前後左右の映像を4分割で表示します。
	切り出し：上下左右にスクロールができる切り出し映像を表示します。

・映像をスクロールするときは、表示されている映像をフリックしてください。

⑤削除

・イベント記録ファイルはこの操作では削除できません。削除する場合は、設定メニューの「SDカードフォーマット」(→ P.36)を行ってください。

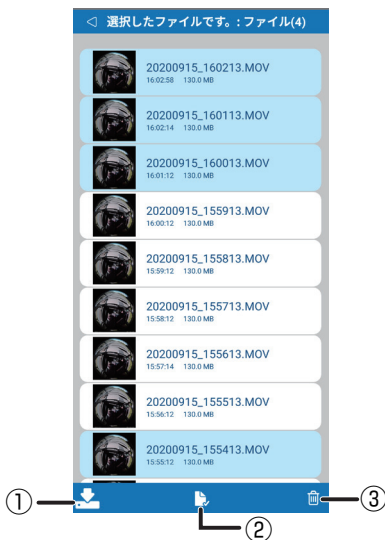


・お使いのスマートフォン / タブレット機器の性能や他のアプリの動作状況、お使いになる場所の通信環境などにより、滑らかにファイルを再生できないことがあります。

複数のファイルを処理する

アルバム画面で「ファイル選択」をタップすると、複数のファイルを選択してダウンロードと削除ができる画面が表示されます。

非選択のファイルをタップすると選択、選択のファイルをタップすると非選択になります。



①ダウンロード

②すべてを選択 / 解除

③削除

- ・イベント記録ファイルはこの操作では削除できません。削除する場合は、設定メニューの「SDカードフォーマット」(→ P.36)を行ってください。

運転支援機能を使う

本機には3つの運転支援機能があります。運転支援機能を使用するには、各機能の設定を「オン」に変更する必要があります。(→ P.33)

機能/画面表示	機能説明
リフレッシュ通知*	録画開始から設定した時間(1時間/2時間/3時間)になると音声で「長時間の運転が続いています。そろそろ休憩しませんか?」と通知します。 録画開始からの時間をカウントしているため、録画を中止するとカウントはリセットされます。
速度警告*	設定した速度(50~120km/h)を超えているときに音声で「速度オーバーです。速度を落としてください。」と通知します。GPSによって速度を検出していますので、車両のスピードメーターの速度表示とは若干違いがあります。
ヘッドライト点け忘れ警告*	トンネルや建物内の駐車場に入ったときなど、周囲が暗くなったときに音声で「ヘッドライトを点灯しましょう。」と通知します。 車両のヘッドライト点灯には連動しませんので、ヘッドライトが点灯していても周囲が暗いときは警告が発生します。

* 警告音 / 音声の音量を調整したいときは、設定メニューの「音量」で調整してください。(→ P.36)

運転支援機能についてのご注意

- 運転支援機能はドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。また、すべての危険を警報するものではありません。
- 運転時は交通ルールを守り、安全運転に努めてください。また、本機の取扱説明書に従って正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

運転支援機能をオン / オフする

1. カメラの [無線 LAN] ボタンを押す
白色の LED が点灯します。
※最初に接続するときは「無線 LAN を接続する」(→ P.17)の手順で接続してください。
2. 「Street Tracker Mobile」を起動する
3. [⚙] をタップする
設定メニューを表示します。
 - 無線 LAN が接続されていないときは、設定メニューは表示されません。



4. 使用したい運転支援機能を設定する



- リフレッシュ通知機能をオンにするときは、「1 時間」、「2 時間」、「3 時間」のいずれかを選びます。
- リフレッシュ通知機能のタイマーカウントは、メニューを表示するなど、常時録画が停止した場合、リセットされます。
- 速度警告をオンにするときは、「50km/h」～「120km/h」のいずれかを選びます。
- 前の画面に戻るには、[◀] をタップします。

設定を変更する

各機能を設定する

本機の設定を変更することができます。

1. カメラの [無線 LAN] ボタンを押す

白色の LED が点灯します。

※最初に接続するときは「無線 LAN を接続する」(→ P.17)の手順で接続してください。

「Street Tracker Mobile」を起動する

2. [⚙] をタップする

設定メニューを表示します。

- 無線 LAN が接続されていないときは、設定メニューは表示されません。



3. 設定したい項目の設定を変更する



- 前の画面に戻るには、[<] をタップします。

メニューの一覧

■ 映像設定

項目	設定	説明
情報記録	オン* オフ	映像に日時・緯度・経度・速度を記録するかどうかを設定します。
WDR	オン* オフ	ダイナミックレンジを拡大して、白とびや黒つぶれを低減します。

■ 運転支援機能設定

項目	設定	説明
リフレッシュ通知	1時間 2時間 3時間 オフ*	設定された時間毎に音声でお知らせします。
速度警告	50～120km/h オフ*	設定した速度を超えているときに音声で通知します。
ヘッドライト点け忘れ警告	オン オフ*	周囲が暗くなったときに音声で通知します。

* お買い上げ時の設定

設定を変更する

■ システム設定

項目	設定	説明
スピーカー音量	20%..60%*. 100%	警告音や音声の音量を設定します。 (音量を0にすることはできません)
イベント感度	3G..2G*..0.5G	イベント記録の衝撃検知の感度:「低」(G 値: 3G)~「高」(G 値:0.5G)を設定します。 低(検知しにくい) ↔ 高(検知しやすい)
音声記録	オン* オフ	録画時の音声記録機能の設定をします。
駐車監視モード	オフ* 衝撃&動体検知 タイムラプス 1fps タイムラプス 3fps タイムラプス 5fps	駐車録画機能をオンにします。 衝撃または動体検知による動画撮影と、 タイムラプス動画撮影を選択できます。
明るさ補正	-2..0*..2	記録される映像の露出(明るさ)レベルを設定します。
SD カードフォーマット	—	microSD カードをフォーマットします。 ※実行するとフォーマットされ、すべての ファイルが消去されます。(→ P.24) 必要な録画ファイルが保存されている場合 は、パソコンなどに保存してから操作して ください。
初期値に戻す	—	メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻 します。
SSID/パスワードの変 更	—	カメラの無線 LAN の SSID やパスワード の変更をします。 SSID やパスワードを変更すると無線 LAN が切断されます。スマートフォンの Wi-Fi 設定で接続をやり直してください。

* お買い上げ時の設定



- ・ 駐車録画機能を有効にするには、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル JVC CU-BC100 (別売品)の電源接続が必要になります。(→ P.23)

■ カメラの情報

項目	説明
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。 バージョンアップについては JVC ケンウッドのホームページ でご案内します。

フォルダ / ファイル構成

microSD カードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。

microSD カード内にあるファイル名をパソコンなどで変更しないでください。本機でのフォーマットが必要になります。また、KENWOOD STREET TRACKER で正しくファイルを再生できなくなります。



● ファイル名の表記について

- GPS が正しく受信できないときのファイル名は GPS を最後に受信したときの日付と時間に近い表示になります。

● SD カードの記録容量について

- 定期的なフォーマットを不要にするため、SD カード全ての容量にデータが記録されています。そのため、パソコンで SD カードを読み込むと空き容量がない状態になります。
- フォルダー単位や SD カード全体をコピーした場合、実際の記録時間に関係なく、最大の容量がコピーされます。

パソコンツールを使う

ビューアソフト (KENWOOD STREET TRACKER) は、本機で録画した映像を表示するためのパソコンツールです。

・本書に掲載の機能や操作方法は、今後のアップデートにより変更となる場合があります。

KENWOOD STREET TRACKER の動作環境

● Windows 版

対応 OS	Windows 8.1 (32Bit/64Bit) Windows 10 (32Bit/64Bit)
CPU	Intel Core i3 以上 第3世代 (3200) 以降
メモリ	4GB 以上

● Mac OS X 版

対応 OS	Apple Mac OS X 10.13 以降
Model	MacBook Air 2013 以降
CPU	Intel Core i5 以上
メモリ	4GB 以上

※上記はすべての環境での動作を保証するものではありません。

インストールする

インストールをするときはパソコン環境を「管理者権限」にしてインストールしてください。

1. <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> で型名を選んでインストーラーをダウンロードする
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックする
インストーラーが起動したら、画面の指示に従ってください。

録画ファイルの再生

1. microSD カードを本機から取り出し、パソコンに接続する

microSD カードアダプター（市販品）を使ってパソコンのSD カードスロットに挿入するか、または USB カードリーダー（市販品）を使用して接続してください。

2. KENWOOD STREET TRACKER を起動する

3. [] をクリックして再生したいファイルのフォルダーを選択する

再生するときは「Video」、「Event」、「Parking」いずれかのフォルダーを選んでください。パソコンにコピーしたフォルダーを読み込むこともできます。

4. リストから再生したいファイルを選ぶ

選択したファイルの再生が始まります。

画面の操作方法については次のページをご覧ください。




- ・フォルダーを読み込むと録画ファイルがリストに表示されます。









パソコンツールを使う



①全画面表示

ビデオを全画面で再生します。[] をクリックすると、通常表示に戻ります。

②操作ボタン

ボタン	説明
	再生の進行状況を表示します。トラックバーに沿ってポイントをクリックし、再生を別の位置に直接移動することができます。
	「切り出し」で表示しているとき、前面の表示に戻します。
	連続再生かリピート再生かを選択できます。
	再生を停止します。
	ファイルリストの前後のファイルにスキップします。
	再生を開始または、一時停止します。
	表示されている映像を静止画で保存します。
	音量レベルを調整できます。

③ G センサーチャート

車の前 / 後 (X)、右 / 左 (Y)、および、上 / 下 (Z) 方向の動きに関する 3 軸波形をグラフとイラストで表示します。

④速度表示

車の速度を表示します。km/h とマイル / 時の単位に切り替えができます。
※位置情報から計算していますので、車のメーター表示とは違う場合があります。






⑤方位表示

車が進んでいる方向を示します。
※位置情報から計算していますので、車が停止しているときは正しく表示されません。

⑥このアプリの情報

⑦地図画面

⑧画面表示

ボタン	説明
	ラウンド：360° の映像を円形状に表示します。
	パノラマ：横長の 360° の映像を表示します。
	2分割：前方と後方の横長の映像を表示します。
	4分割：前後左右の映像を 4 分割で表示します。
	切り出し：上下左右にスクロールができる切り出し映像を表示します。

• 映像をスクロールするときは、表示されている映像をフリックしてください。

⑨ファイルリスト

選択したフォルダー内のファイルを表示します。

ファイル名：年月日_時分秒.MOV

⑩フォルダーを開く

⑪パノラマ変換出力

360° のパノラマに変換した映像を出力します。

※動画プレイヤーソフトの仕様によって、スクロールができる場合とできない場合があります。



• 地図画面は、パソコンがインターネットに接続されていない場合は表示されません。

• 駐車録画ファイル (Parking) を再生した場合は地図画面は表示されません。

故障かな？と思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

● FAQ (よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

「故障かな？と思ったら」と合わせてこちらもお覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq>

共通

症状	原因	対処方法
電源がオンにならない/ シガープラグのインジケータ ーが点灯していない	本機に電源が供給されていない	シガープラグの差し込みと、本体の差し込みを確認してください。(→ P.20)
	動作が不安定になっている	本体の RESET ボタンを押してください。(→ P.12)
microSD カードを認識しない	microSD カードスロットに microSD カードが入っていない	microSD カードを microSD カードスロットに挿入してください。(→ P.24)
	microSD カードの読み込み/ 書き込みができなくなっている	microSD カードをパソコンでフォーマットしてください。
	microSD カードのエラーが発生する	それでも症状が改善しない場合は、microSD カードを交換してください。
録画ファイルが見つからない	録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた	必要な録画ファイルをパソコンに保存してから録画を開始してください。
	16GB より容量が少ないため録画ファイルを作成できない	容量が16GB~32GBの microSD カードをご使用ください。(→ P.14)
録画されたファイルの映像が鮮明でない	「切り出し」で表示している	元の画像から切り出して拡大表示をしていますので、解像度は高くありません。
	ライブビューまたはストリーミング再生を表示している	2160x2160の画像を640x640に変換しています。スマートフォンにダウンロードしてから再生するか、パソコンを使って再生してください。
	レンズが汚れている	柔らかい布などで乾拭きしてください。

駐車録画

症状	原因	対処方法
駐車録画ができない	別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル JVC CU-BC100 を使用していない	本機の駐車録画機能を有効にするには別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル JVC CU-BC100 が必要になります。JVC CU-BC100 を接続してください。(→ P.23)
	接続された JVC CU-BC100 の「オフタイマー設定」がオフになっている	JVC CU-BC100 の取扱説明書を確認し、スイッチ設定を行ってください。
	設定の「駐車録画設定」が「オフ」になっている	「駐車録画設定」をしてください。(→ P.28)
別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル JVC CU-BC100 のタイマー設定時間より前に録画が終わっている	車両のバッテリーの電圧が別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル JVC CU-BC100 のバッテリー上がり防止設定値(電源カットオフ値設定)以下になった	別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル JVC CU-BC100 のタイマー時間設定を短くするか、バッテリー上がり防止設定値を下げてください。最小値まで下げても症状が改善されない場合、車両バッテリーの電圧が設定値電圧より低い可能性があります。車両販売店でバッテリーの電圧を確認してください。

イベント記録

症状	原因	対処方法
車両に衝撃がないときにイベント記録の警告音が鳴り続けている	<ul style="list-style-type: none"> 電源オン時の G センサーの補正値が正しく設定されていない 急な坂道を走行している 正しい位置に取り付ける前に電源をオンにした 	<ul style="list-style-type: none"> 本機を正しい位置に取り付けてから電源をオフ/オンしてください。 平らな状態で電源を入れ直してください。 録画設定の「イベント感度」で衝撃検出の感度を下げてください。(→ P.36)
残したい映像が見つからない	残したい映像がイベント記録時間に収まらなかった	常時録画を保存しているフォルダから、イベント記録後に作成されたファイルを確認してください。

故障かな？と思ったら

運転支援

症状	原因	対処方法
運転支援機能が正しく動作しない	衛星の信号を受信できない	衛星の信号を受信できていないと、速度が正しく測位できないため、機能が正しく動きません。
リフレッシュ通知が設定した時間になっても通知されない	録画が中断されるとタイマーはリセットされる	録画が中断される操作はしないでください。

KENWOOD STREET TRACKER

症状	原因	対処方法
KENWOOD STREET TRACKER が起動しない	管理者権限でのインストールをしていない	管理者権限でインストールしてご使用ください。(→ P.38)

音声メッセージ

次のメッセージを音声案内した場合は、一覧に従って対処してください。

メッセージ	原因	対処方法
「SD カードのエラーです。フォーマットを行ない、すべてのデータを消去します。よろしければ電源ボタンを一回押してください。」	microSD カードが認識できる形式でフォーマットされていない	電源ボタンを一回押してください。
「SD カードのエラーです。SD カードを交換してください。」	micro SDカードが破損している	新しい micro SDカードを入れてください。 (→ P.24)
「SD カードがありません。」	micro SDカードを入れていない状態で電源をオンにした	micro SDカードを入れてください。(→ P.24)
「クラス 10 以上の SD カードを使用してください。」 「16GB、または、32GB の SD カードを使用してください。」	使用できない micro SDカードが挿入されている	新しい micro SDカードを入れてください。(→ P.24)

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）が提供する本製品に組み込まれたソフトウェア（以下、「許諾ソフトウェア」）は、ライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有します。本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。本契約は、お客様（以下、「使用者」）が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で、成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。この場合、一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別に、お客様に対して直接使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては、本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアについて、日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权（第3条第1項に定める例外を除く）を使用者に許諾します。

第2条（使用权）

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部もしくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変し、もしくは貸与することができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとします。許諾ソフトウェアは営利目的か否かに関わらず、いかなる目的でも頒布、ライセンス、もしくはサブライセンスをすることができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用权についても同様に移転することができます。但し、当該移転は、使用者の手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件とします。

2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

1. 許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等の一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用权と再許諾権を許諾した原権利者（以下、「原権利者」）に帰属するものとします。使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して、本契約に基づき許諾された使用权を除き、いかなる権利を有するものではありません。

2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使した結果、使用者もしくは第三者に生じた損害に関して、いかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけるものとし、

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち、公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しない

ものとしします。

第8条 (契約の解除)

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとしします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条 (許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者は、契約が解除された日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとしします。

第10条 (著作権保護)

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものであり、いかなる権利も使用者が有するものではありません。

2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとしします。

第11条 (輸出規制)

1. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとしします。

2. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとしします。

第12条 (その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとしします。

2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとしします。

3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とする事に合意するものとしします。

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて
本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、JVC ケンウッド及び第三者が規定したソフトウェア使用許諾契約に基づくソフトウェアコンポーネント（以下、「許諾ソフトウェア」）を使用しております。

許諾ソフトウェアの中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」）のライセンスが適用される結果、実行可能な形式のソフトウェアコンポーネントを配布する際に、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にすることが求められています。当該ソースコードの頒布に関しては、以下のホームページをご覧くださいようお願い致します。

ホームページアドレス <http://www3.jvckenwood.com/download/gpl/index.html>
なお、ソースコードの内容等についてのご質問は お答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない許諾ソフトウェアにつきましては、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、

当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を記載します。

オープンソースライセンス

Using OSS(Name_Version_Including license)
axTLS v1.5.1 BSD-3C
iPerf v2.0.5-2 BSD-3C
iPerf v3.0.1 BSD-3C
Live555 v2013.04.23 LGPL
curl v7.45.0 MIT
Wolfssl v3.10.0 GPL

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish);

that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking

a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains

a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute

such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary

GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if

the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system,

rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the

accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply

in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing

and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and an idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in

the library "Frob" (a library for tweaking knobs) written

by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software

is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this,

we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute

such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt

otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply

in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the

author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public,

the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and an idea of what it does.

Copyright (C) yyyy name of author

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful,

but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of

MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License

along with this program; if not, write to the Free Software

Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author

Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details

type `show w`. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c` for details.

The hypothetical commands `show w` and `show c` should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w` and `show c`; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

MIT License

ambaipc_test

network_turnkey

amba_examples

Copyright (c) 2014 by Ambarella Inc.

libxpat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper

Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

libffi

Copyright (c) 1996-2014 Anthony Green, Red Hat, Inc and others.

ncurses

Copyright (c) 1998-2004,2006 Free Software

Foundation, Inc.

iperf

Copyright (c) 1999-2007, The Board of Trustees of the University of Illinois All Rights Reserved.

libcurl

Copyright (c) 1996 - 2015, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>. All rights reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice (including the next paragraph) shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

BSD-3-Clause License

libtirpc

Copyright (c) Bull S.A. 2005 All Rights Reserved.

rpcbind

Copyright (c) Copyright (c) Bull S.A. 2005 All Rights Reserved.

strace

Copyright (c) 1991, 1992 Paul Kranenburg <pk@cs.few.eur.nl>

Copyright (c) 1993 Branko Lankester <branko@hacktic.nl>

Copyright (c) 1993 Ulrich Pegelow <pegelow@moorea.uni-muenster.de>

Copyright (c) 1995, 1996 Michael Elizabeth Chastain <mec@duracef.shout.net>

Copyright (c) 1993, 1994, 1995, 1996 Rick Sladkey <jrs@world.std.com>

Copyright (C) 1998-2001 Wichert Akkerman <wakkerma@deephackmode.org>

All rights reserved.

pppd

Copyright (c) 1994-2002 Paul Mackerras. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

商標について

- microSDHC、microSDHC ロゴは SD-3C LLC の商標です。
 - Android™、Google Play は、Google LLC の商標または登録商標です。
 - Windows、Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Apple、Mac、OS X、MacBook Air は米国およびその他の国で登録された米国 Apple, Inc. の商標です。
 - App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
 - iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
 - iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
 - Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
 - 本製品は AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
 - 1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画 (以下、AVC Video) を記録する場合
 - 2) AVC Video (消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、または MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの) を再生する場合
 - Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。

主な仕様

本体

電源電圧	DC5.0V (12V 車用シガープラグコード付属)
録画時消費電流 (最大)	480mA (2A)
測位衛星	GPS (Global Positioning System) +QZSS(SBAS)+GLONASS
G センサー	0.5G~3.0G : 6段階
撮像素子	1/2.8 型 約 840 万画素 フルカラー STARVIS CMOS
最大記録画角	水平 : 約 360° / 垂直 : 約 210°
F 値	F1.8
動作温度範囲	-10℃~+60℃
記録解像度 (最大)	2160 × 2160 (動画最大約 466 万画素)
フレームレート	27fps
記録方式	常時録画 / イベント記録 / 手動録画 / 駐車録画 * * 駐車録画は別売りの「JVC CU-BC100」が必要
常時録画ファイル単位	1 分
録画フォーマット (動画)	MOV(H.264 + LPCM)
記録映像再生方法	専用アプリ対応 (Android OS/iOS 対応) 専用ビューアソフト対応 (当社ホームページよりダウンロード)
記録メディア	microSDHC カード 16GB~32GB 対応 Class 10 以上
外形寸法 (W) × (H) × (D)	61mm x 74mm x 81mm
質量 (重さ) (ケーブル含まず、 microSDHCカード含む)	137g
電源ケーブル長	3.5m (シガープラグコード)

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

● **システム更新について**

本機のシステムファームウェアを更新します。アップデートに関する情報やアップデート手順は、当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/> をご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）
0570-010-114（携帯電話、PHSからはナビダイヤル）
045-450-8950（一部 IP 電話など） / FAX 045-450-2308
受付時間などは、裏表紙を参照してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（→ P.42）または当社ホームページの FAQ（→ P.42）を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

- 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
- 補修用性能部品の保有期間
この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
 - 製品をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
 - 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
 - 保証期間内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外し、または取り付けの作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

- 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です）
技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度

下記の申込用サイトに登録してください。

<https://jdrc-omimai.sakura.ne.jp/>

今すぐ事前Web登録を!

本制度のご利用にはWeb(ホームページ)からの
事前登録が必要です。

商品パッケージにあるマーク、または右の
QRコードから申込用サイトにアクセス
することができます。事前登録されない
と補償金をお支払できませんので、購入後
1か月以内のご登録をお願い致します。



交通事故時ドライブレコーダー 買替補償金制度とは

ドライブレコーダーのご購入者及び使用者が、ドライブレコーダーを設置した車両でレッカー搬送を伴う交通事故にあわれた場合、ドライブレコーダーの再購入費用及びその諸経費を補てんする目的で、ドライブレコーダー協議会から一律4万円の補償金が支払われる制度です。

費用負担

無し

(費用はメーカーが負担します)

買替補償金

4万円
(一律)



ドライブレコーダー協議会

補償金制度担当

お問い合わせ

e-mail : info@jdrc.gr.jp

内容

補償金の範囲

- 1 ドライブレコーダーの再購入費用
- 2 SDカード再購入費用
- 3 ドライブレコーダーの撤去費用
- 4 ドライブレコーダーの再設置費用
- 5 交通事故証明書の発行費用
- 6 補償金申請に関する資料及び物品の送付料
- 7 その他、上記に関する諸経費

補償金額

一律4万円

ご加入費用

無料 (費用はメーカーが負担します)

補償期間

登録日の翌日より1年間

受取人

本制度に加入しているご本人様となります。
(死亡の場合は、法定相続人となります。)

対象となる交通事故

レッカー搬送を伴う自動車事故
(追突された場合、車両が盗難された場合、
車両が故障された場合は除きます。)

事故時における申請資料

下記資料をご提出ください

- 1 ドライブレコーダー本体
- 2 ドライブレコーダーの事故映像データの記録されたSDカード
- 3 交通事故証明書(写しても可)
- 4 レッカー搬送の証明書類
- 5 再購入された同一メーカーのドライブレコーダーのレシート
- 6 補償金請求書



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜： 9:30～18:00
土曜： 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。